

いちご栽培管理 (R5.4.)

(有) 丸 富

3月は三寒四温で徐々に暖かくなったが、寒暖差が激しかった。灰色カビ、スリップスなど病害虫の発生が多かった。気温が上がり、収穫量は増えたものの、なり疲れ時に開花した花が不受精となり、角果や不受精果が多かった。

軟弱徒長抑制

日長時間が長く気温が上がると、栄養生長傾向になるので、軟弱徒長する。軟弱徒長すると、果実が葉の陰になり着色が悪く、糖分も葉に流れ、味も落ちる。できる限り冷やして軟弱徒長を抑える。

緑化促進・徒長抑制に**天然ミネラル 2,000 倍**と**酸カル 1,000 倍**と**サンミネーラ 5,000 倍**を葉面散布する。

軟果対策

温かく湿った曇天が続くと、株が水を吸って、果実や茎葉が軟らかくなる。

果実の軟果対策に**酸カル 1,000 倍**と**オリゴファイト 2,000 倍**と**サンミネーラ 5,000 倍**を葉面散布する。

灌水による軟果対策に**天然ミネラル 100 cc/10a**と**酸カル 100~200 cc/10a**と**サンミネーラ 50 cc/10a**を7~10日毎に灌水する。

害虫対策

近日点ではダニ、スリップス、アブラムシなど害虫が盛んに繁殖する。ハウス周辺の環境変化に注意。

害虫の事前対策に**バイオアクトTS 50~70 cc/10a**を5~7日毎に灌水する。(暑いと効果が短くなる。)

発根促進

地温の上昇と共に、根の働きを強化する。地温(水温)が上がれば、土壌中の溶存酸素量が減少する。根の働きが活発になると、酸素を多く必要とするので、状況に応じて酸素供給を行う。

発根促進に**天地の恵み 500 cc(発根力 1ℓ)/10a**と**Gバランス DF 1 kg/10a**を1ヶ月毎に灌水する。

親株管理

病害虫対策として、適期防除を行う。また、ランナーが増えるように、花や実は取り除く。

防除時に**天地の恵み 500 倍**と**天然ミネラル(又は酸カル)2,000 倍**と**サンミネーラ 10,000 倍**を混用する。

追肥(液肥)

施用量は肥料、土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥 1~3ℓ/10a

時を越えた贈り物(又は酸カル) 100~200 cc/10a

サンミネーラ 50~100 cc/10a

バイオアクトTS 50~70 cc/10a

5~7日毎に灌水する場合
※状況に応じて加減する

※サンミネーラの代わりにシカアップ[®] 100~150 cc、天然ミネラル 200~300 cc、海藻のエキス 50 g でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富

TEL (0942) 65-0123

FAX0942-65-1091 (24時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)